

# 令和4年度 食育に関する実態調査 集計結果

## ◆調査の目的

本市では、市民の健康寿命の延伸と地産地消の推進を図るため、平成30年3月に平成30年度から令和4年度までの5年間の計画期間とする「第3次宮崎市食育・地産地消推進計画」を策定しました。そこで、本計画の達成に向け、市民の食に関する実態を把握し、よりいっそうの食育・地産地消の推進に取り組むため調査を実施しました。

## ◆調査の概要

- (1) 調査時期 令和4年8月（発送日：令和4年8月5日、返送期限：令和4年8月31日）
- (2) 対象者 2,000人（住民基本台帳データより無作為に抽出した16歳以上の宮崎市民）
- (3) 回答数 840人（回答率42.0%） 10代から80代の男女にアンケート用紙を郵送配布

## ◆調査結果概要

- 【問1】 男性:383名 女性:448名 答えたくない:7名 無回答:2名
- 【問2】 10代:85名 20代:65名 30代:89名 40代:106名 50代:100名  
60代:134名 70代:139名 80代:122名 無回答:0名
- 【問3】 農林水産業:12名 自営業:57名 会社員:194名 公務員:53名  
パート・アルバイト:101名 主婦・主夫:94名 学生:80名 無職:212名  
その他:33名 無回答:4名
- 【問4】 宮崎市佐土原町:66名 宮崎市田野町:24名 宮崎市高岡町:21名  
宮崎市清武町:55名 それ以外の宮崎市内:672名 無回答:2名
- 【問5】 一人暮らし:178名 家族と住んでいる:649名 施設:3名 無回答:10名  
中学生以下のいる世帯:181世帯 65歳以上がいる世帯:270世帯
- 【問6】 0皿:27名 1皿(70g):199名 2皿(140g):276名 3皿(210g):171名  
4皿(280g):86名 5皿(350g):52名 6皿(420g):6名 7皿(490g):5名  
無回答:18名
- 【問7】 知っていた:365名 知らなかった:464名 無回答:11名
- 【問8】 知っていた:94名 知らなかった:732名 無回答:14名
- 【問9】 体験したことがある:393名 体験したことがない:433名 無回答:14名
- 【問10】 米作り:271名 農作業:150名 収穫:261名 畜産:65名 漁業:132名  
里山:60名 栽培:162名 その他:10名
- 【問11】 毎日(週7日)食べる:423名 週5~6日食べる:100名 週3~4日食べる:52名  
週1~2日食べる:25名 一人で食べることが多い:57名 一人暮らしや無回答:183名
- 【問12】 毎日(週7日)食べる:297名 週5~6日食べる:207名 週3~4日食べる:148名  
週1~2日食べる:97名 ほとんどない:52名 無回答:39名
- 【問13】 宮崎産の食品:239名 国内産の食品:387名 輸入品:1名 特にこだわらない:200名  
無回答:13名

## ◆調査結果まとめ

今回のアンケートでは、市民の野菜摂取量は、厚生労働省が生活習慣病予防の目安と掲げている1日の摂取量350gよりも少ない人が多く、350g以上摂取しているのは全体の7.6%でした。(問6)

また、40%以上の方が、厚生労働省が推奨している「健康の維持・増進のため1日350g以上の野菜を食べること」を認知している(問7)にもかかわらず、約90%の人が1日350gの野菜を食べることを推奨する「MVP350」の取り組みを認知していませんでした。(問8)

このことから、「MVP350」を多くの市民に認知していただくよう周知することで、野菜を350g以上摂取することをより身近に感じていただき、野菜摂取量増加につながると考えられます。

さらに、食品を購入する際に約75%の人が宮崎産や国産の食品を選択し、その中でも約30%の人が宮崎産の食品を選択しており、地元の食品へのこだわりや「食の安心・安全」への関心の高さがうかがえる結果となりました。(問13)

全体で見ると、男女別では、男性よりも女性のほうが野菜摂取に対する意識が高く、実際の野菜摂取量も多いという結果になりました。また、国産や県内産のものを選ぶ人も女性のほうが多いという結果になりました。

年代別では、若年層よりも高齢の世代のほうが野菜摂取に対する意識が高く、野菜摂取量も多いという結果になりました。また、国産や県内産のものを選ぶ人も高齢の世代が多いという結果になりました。

これらのことから、今後は、若年層のとくに男性を中心に「MVP350」の取り組みを展開していくことで、市民全体の野菜摂取に対する意識の向上につながると考えられます。

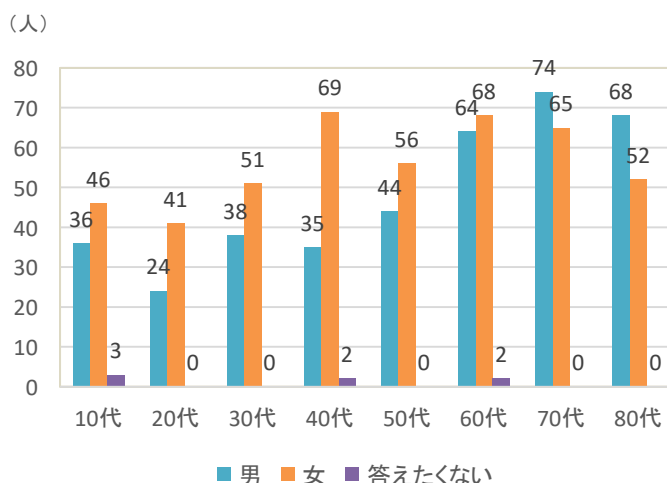
## ◎調査結果

問1 あなたの性別を教えてください。

問2 あなたの年齢を教えてください。

男女別では女性のほうが回答率が高く、世代別では高齢の世代で回答率が高くなりました。

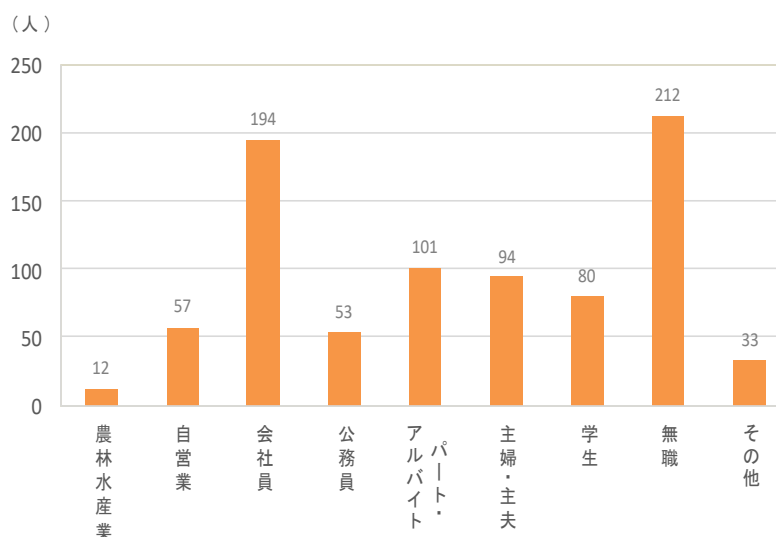
選択肢	男	女	答えたくない	無回答	計
10代	36	46	3	0	85
20代	24	41	0	0	65
30代	38	51	0	0	89
40代	35	69	2	0	106
50代	44	56	0	0	100
60代	64	68	2	0	134
70代	74	65	0	0	139
80代	68	52	0	2	122
計	383	448	7	2	840



問3 あなたの職業を教えてください。

無職が最も多く、次いで会社員が多いという結果になりました。

選択肢	回答数	割合
農林水産業	12	1.4%
自営業	57	6.8%
会社員	194	23.2%
公務員	53	6.3%
パート・アルバイト	101	12.1%
主婦・主夫	94	11.2%
学生	80	9.6%
無職	212	25.4%
その他	33	3.9%
計	836	100.0%
無回答	4	-



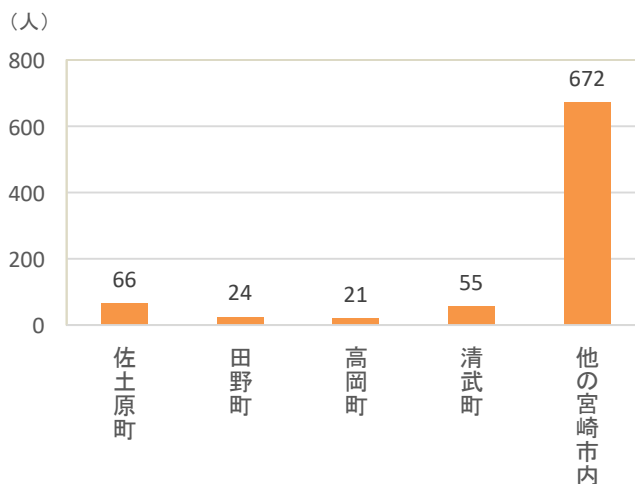
その他として回答のあった職業

・団体職員 ・研修医

**問4 あなたのお住まいを教えてください。**

旧4町以外の宮崎市内が最も多いという結果になりました。

選択肢	回答数	割合
佐土原町	66	7.9%
田野町	24	2.9%
高岡町	21	2.5%
清武町	55	6.6%
他の宮崎市内	672	80.2%
計	838	100.0%
無回答	2	-

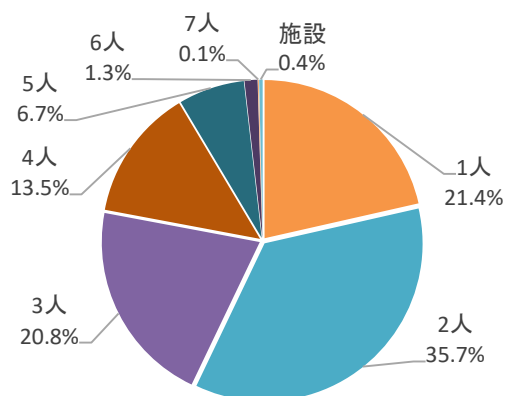


**問5 あなたと一緒に暮らしているご家族について教えてください。( )内にご記入ください。  
一緒に暮らしている家族は、あなたを含めて( )名、そのうち、中学生以下が( )名、  
65歳以上が( )名**

2人暮らしが最も多く、次いで1人暮らし、3人暮らしが多いという結果になりました。

一緒に住んでいる人数	回答数	割合
1人	178	21.4%
2人	296	35.7%
3人	173	20.8%
4人	112	13.5%
5人	56	6.7%
6人	11	1.3%
7人	1	0.1%
施設	3	0.4%
総計	830	100.0%
無回答	10	-

	回答数	割合
中学生以下がいる世帯	181	21.5%
65歳以上がいる世帯	270	32.1%

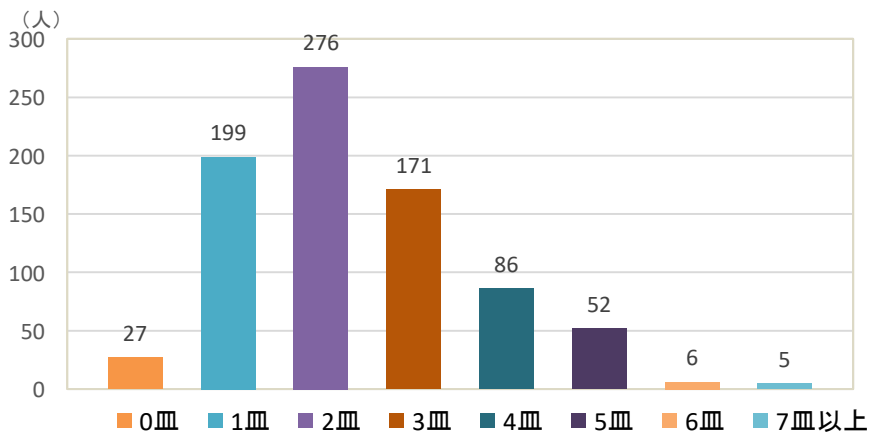


問6 あなたは、1日平均およそ何gの野菜を摂取していると思いますか。下の1皿当たり70gの野菜を使った料理の例を参考に、毎日およそ何皿の野菜料理を食べていると思いますか。

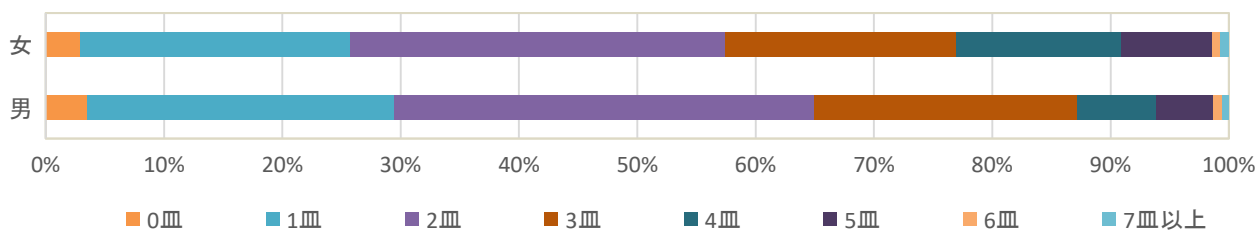
全体では、1皿～3皿の人が約80%を占めるという結果になりました。

男女別では女性の方が皿数が多く、世代別で見ると高齢の世代の方が皿数が多い結果になりました。

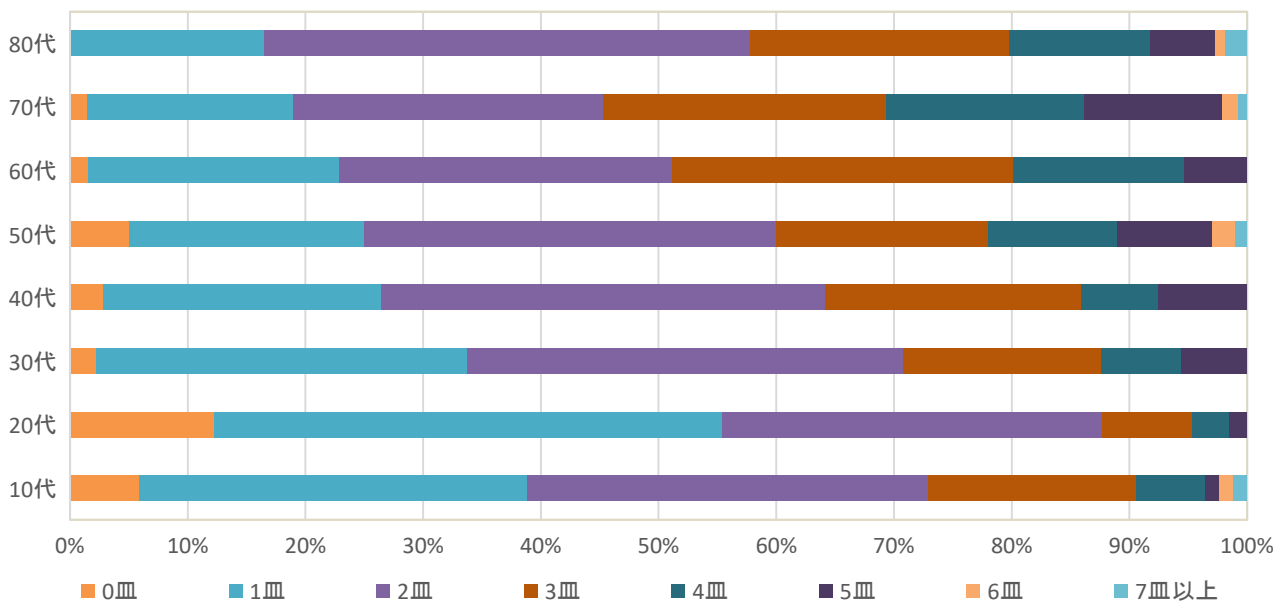
選択肢	回答数	割合
0皿	27	3.3%
1皿(70g)	199	24.2%
2皿(140g)	276	33.6%
3皿(210g)	171	20.8%
4皿(280g)	86	10.5%
5皿(350g)	52	6.3%
6皿(420g)	6	0.7%
7皿(490g)	5	0.6%
計	822	100.0%
無回答	18	-



### 男女別



### 年代別



第3次宮崎市食育・地産地消推進計画における数値目標

指標	基準値 (2016年度)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	今回 2022年度	目標値 (2022年度)
(1) 成人1日あたりの野菜摂取量	男性292g 女性278g	男性154g 女性174g	男性160g 女性185g	男性160g 女性175g	男性171g 女性200g	男性156g 女性174g	350g

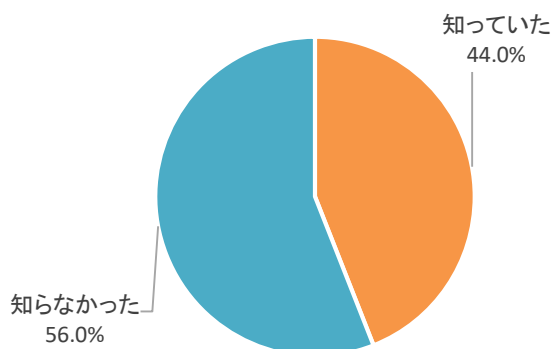
**問7 あなたは、厚生労働省が推奨している「健康の維持・増進のため1日350g以上の野菜を食べること」をご存知でしたか。**

全体では、40%以上の方が知っていました。

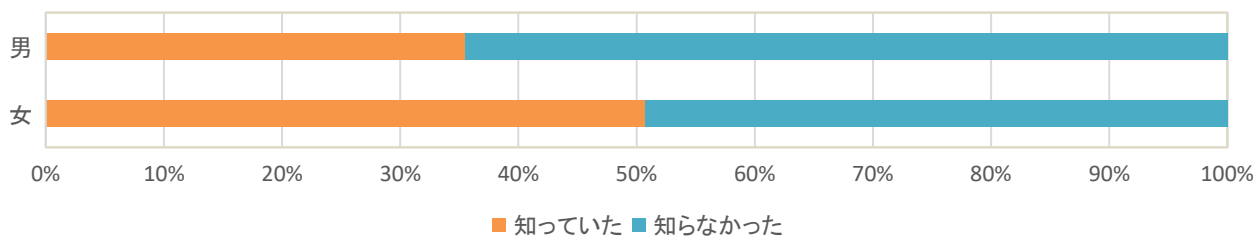
男女別では、女性の約50%の方が知っているにもかかわらず、男性では40%にも満たないという結果になりました。

年代別では、10代で知っている人が30%に満たないという結果になりました。

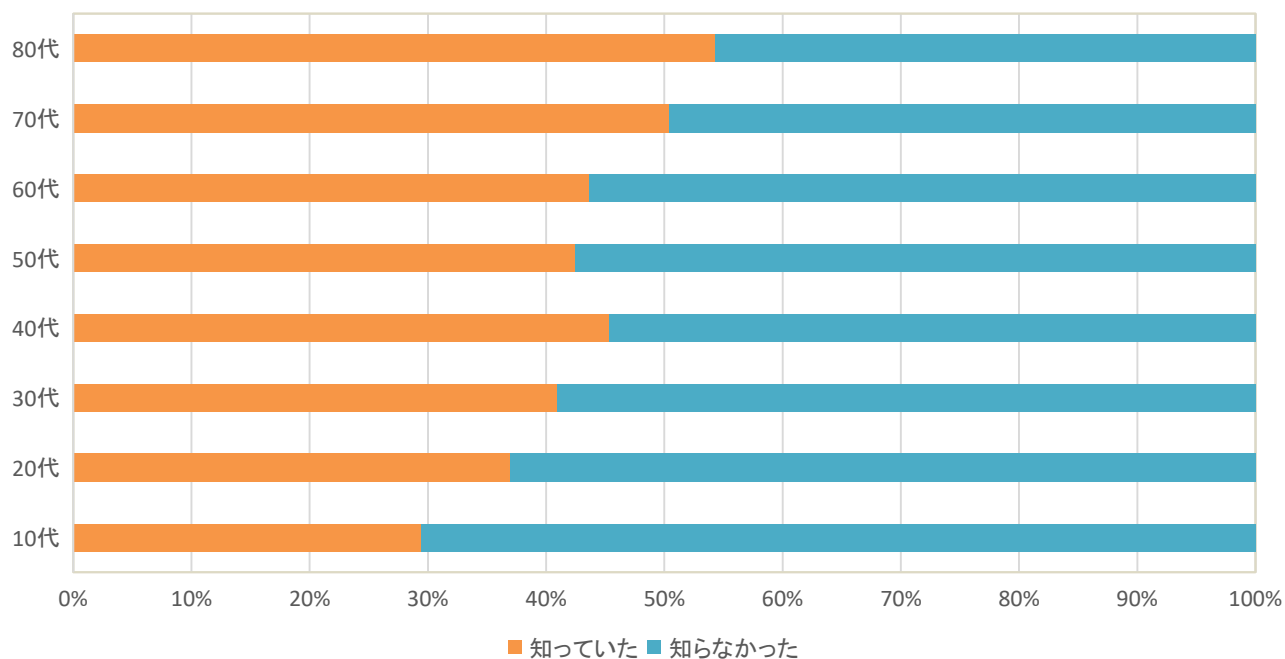
選択肢	回答数	割合
知っていた	365	44.0%
知らなかった	464	56.0%
計	829	100.0%
無回答	11	-



**男女別**



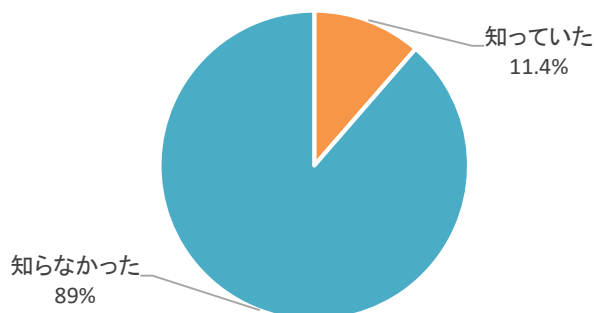
**年代別**



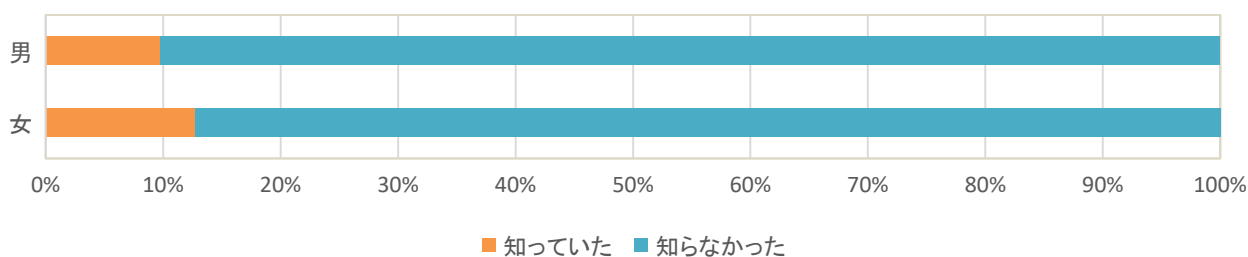
問8 本市では、成人1日あたり350gの野菜を食べることを推奨する「MVP350(ミヤザキ・ベジタブル・プロジェクト350)」に取り組み、栄養バランスのとれた食生活を促す市民運動を展開しています。  
この「MVP350」の取組をご存知でしたか。

全体では、90%の人が「MVP350」の取組を知らませんでした。  
男女別では、女性の方が知っている割合が高く、男性は10%以下でした。  
年代別では、20代で知っている割合が最も低いという結果になりました。

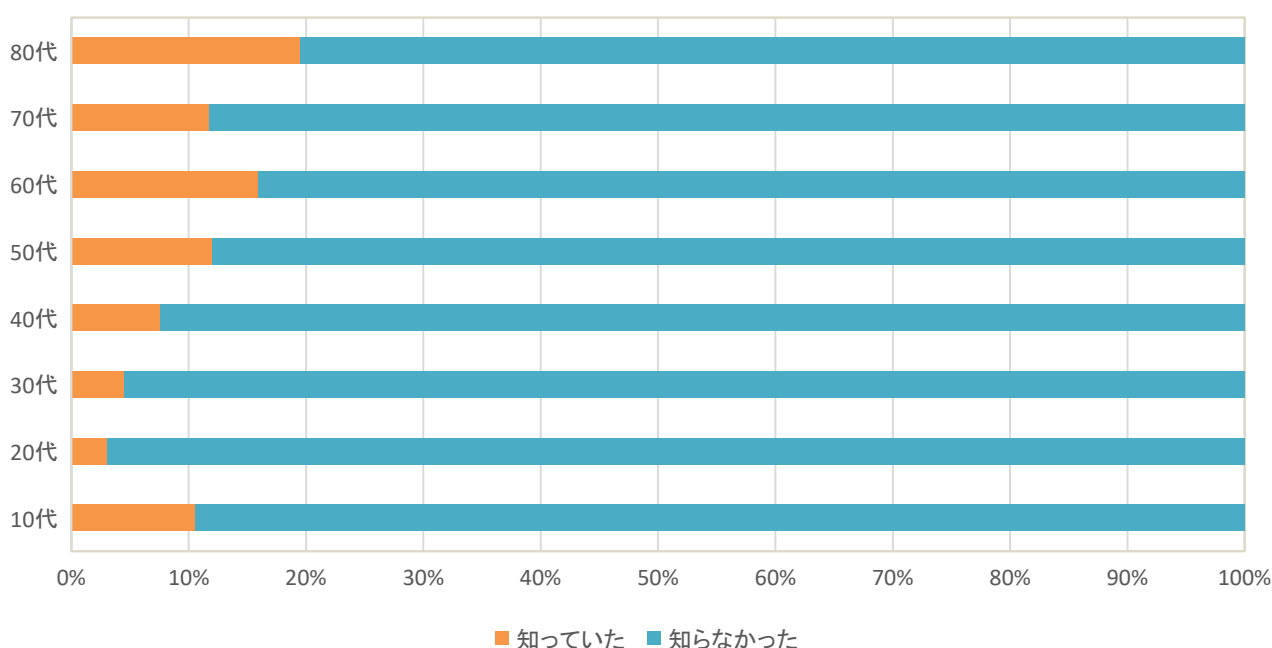
回答数	合計	割合
知っていた	94	11.4%
知らなかった	732	88.6%
計	826	100.0%
無回答	14	-



### 男女別



### 年代別



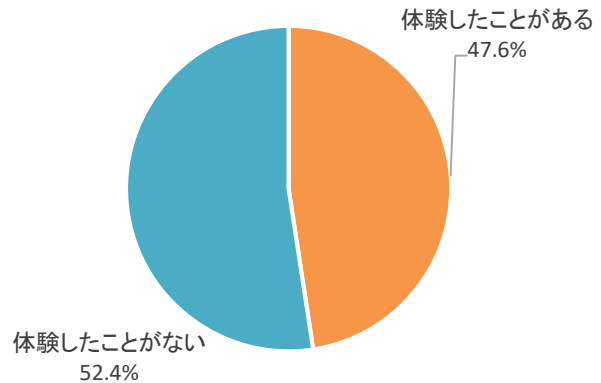
第3次宮崎市食育・地産地消推進計画における数値目標

指標	基準値 (2016年度)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	今回 2022年度	目標値 (2022年度)
(2)MVP350の認知度	21.7%	18.8%	18.3%	17.1%	10.8%	11.4%	50%

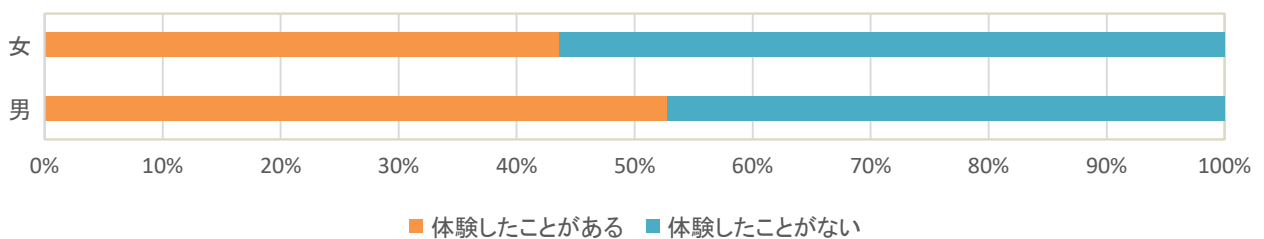
## 問9 あなたは、農林漁業体験をしたことがありますか。

全体的では、約50%の人が農林漁業体験をしたことがあるという結果になりました。  
 男女別では、男性のほうが体験をしたことがある割合が高いという結果になりました。  
 年代別では、70代と80代で体験をしたことがある人が50%を超えているという結果になりました。

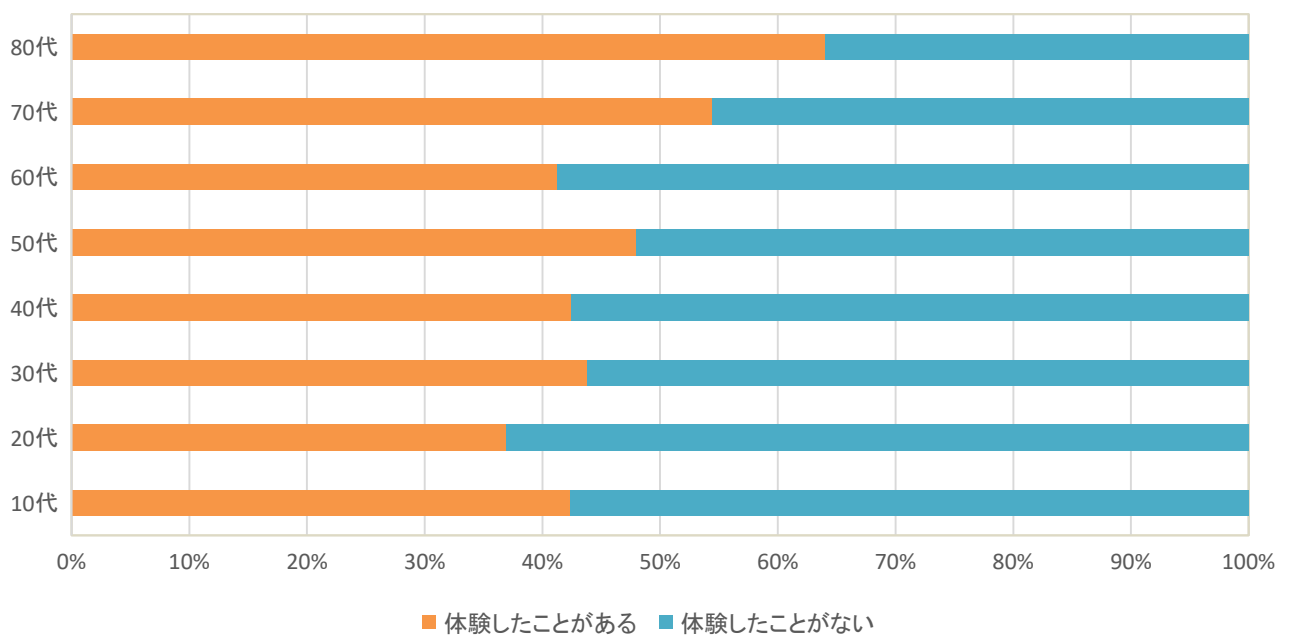
選択肢	回答数	割合
体験したことがある	393	47.6%
体験したことがない	433	52.4%
計	826	100.0%
無回答	14	-



### 男女別



### 年代別



第3次宮崎市食育・地産地消推進計画における数値目標

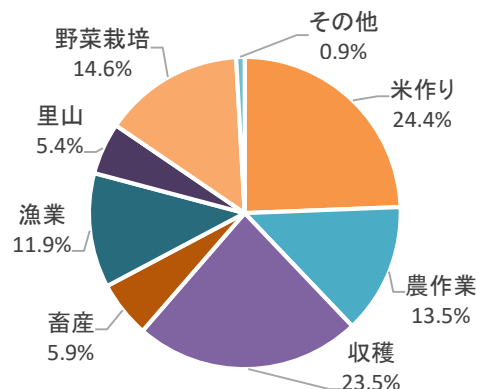
指標	基準値 (2016年度)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	今回 2022年度	目標値 (2022年度)
(8) 農林漁業体験を経験した割合	55.1%	57.6%	52.2%	53.7%	54.7%	47.6%	60%



問10 あなたが経験した農林漁業体験は、どのような体験でしたか。  
あてはまるものを3つまで選んでください。

田植えや稲刈りなどの米作り体験が最も多く、次いで収穫体験が多い結果となりました。

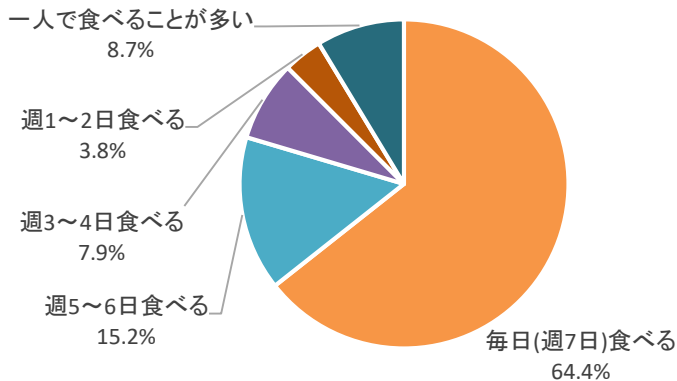
選択肢	回答数	割合
田植えや稲刈りなどの米作りに関する体験	271	24.4%
種まきや苗の植付けなどの農作業に関する体験	150	13.5%
イモ掘りや野菜・果物などの収穫体験	261	23.5%
乳搾りやニワトリの飼育などの畜産体験	65	5.9%
魚釣りや潮干狩りなどの漁業体験	132	11.9%
山菜の収穫や植林などの里山体験	60	5.4%
自宅などの家庭菜園や市民農園を借りて、野菜などの栽培	162	14.6%
その他	10	0.9%
計	1111	100.0%



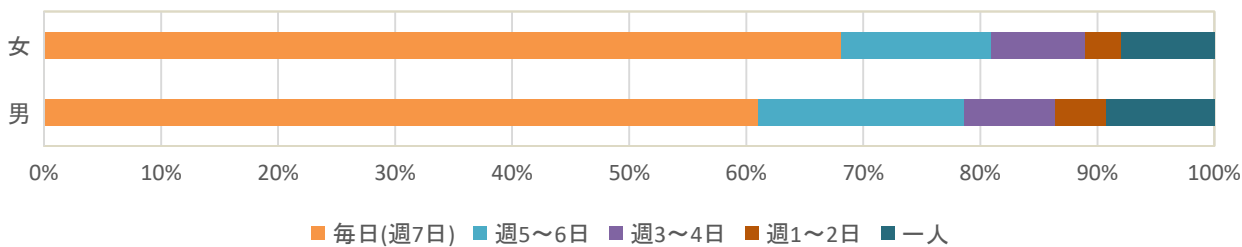
**問11 あなたは、同居されてる方と朝食又は夕食をどの程度一緒に食べていますか。**

全体的では、毎日（週7日）同居されている方と食べるという人が60%超を占めました。  
 男女別では、女性の方が一緒に食べる頻度が高いという結果になりました。  
 年代別では、20代で一緒に食べる頻度が低いという結果になりました。

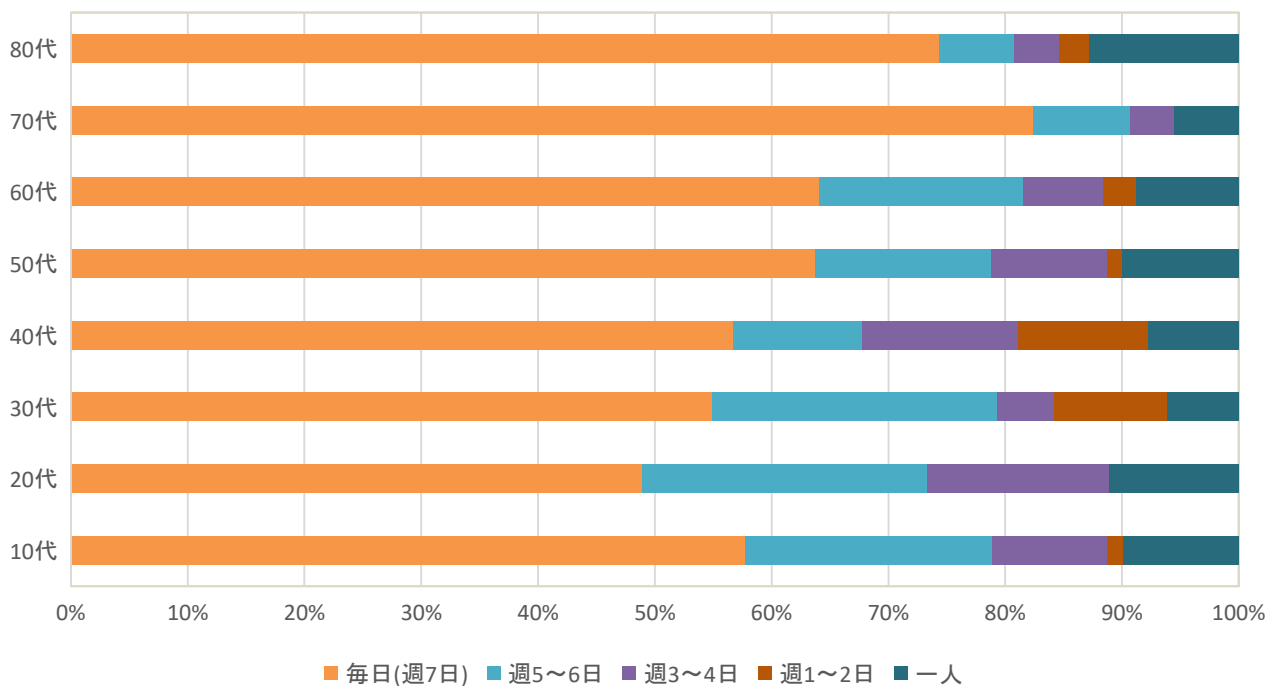
選択肢	合計	割合
毎日(週7日)食べる	423	64.4%
週5~6日食べる	100	15.2%
週3~4日食べる	52	7.9%
週1~2日食べる	25	3.8%
一人で食べることが多い	57	8.7%
計	657	100.0%
一人暮らし・無回答	183	-



**男女別**



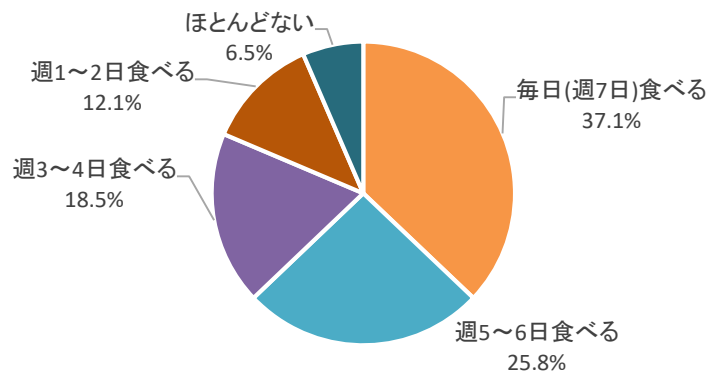
**年代別**



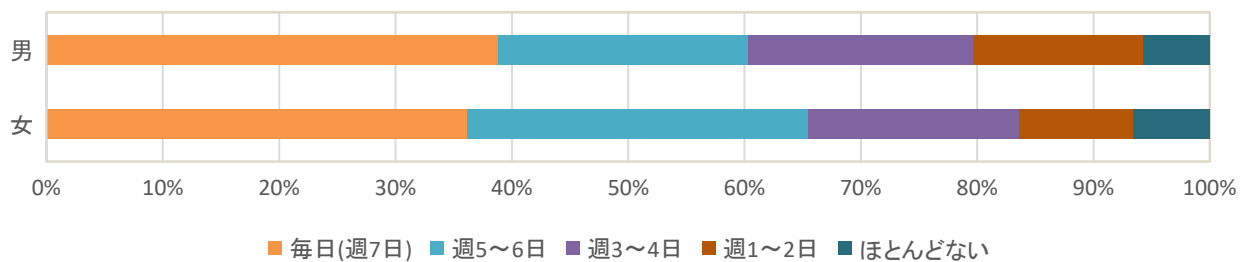
**問12 あなたは、主食・主菜・副菜の3つがそろった食事を、1日に2回以上食べる日が週に何日ありますか。**

全体では、毎日(週7日)と答えた人が40%以上を占めました。  
 年代別では、20代以上で年代が上がるにつれ、バランスの取れた食事を行っている人が多いという結果になりました。

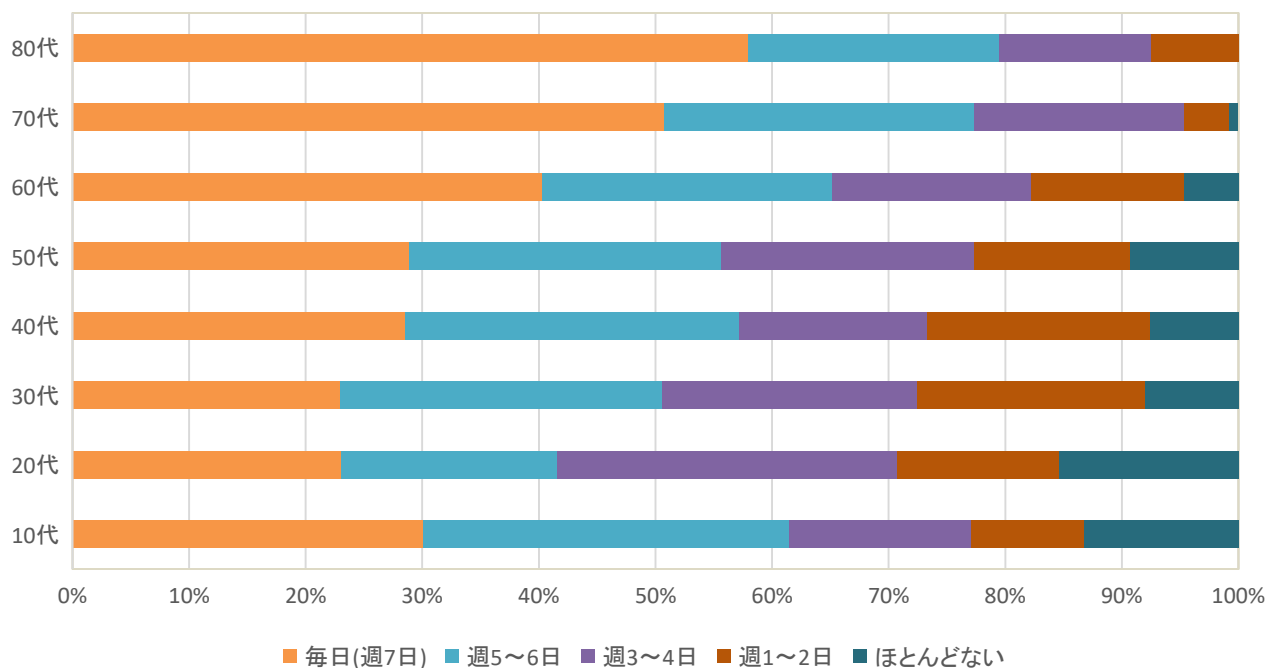
選択肢	合計	割合
毎日(週7日)食べる	297	37.1%
週5～6日食べる	207	25.8%
週3～4日食べる	148	18.5%
週1～2日食べる	97	12.1%
ほとんどない	52	6.5%
計	801	100.0%
無回答	39	-



**男女別**



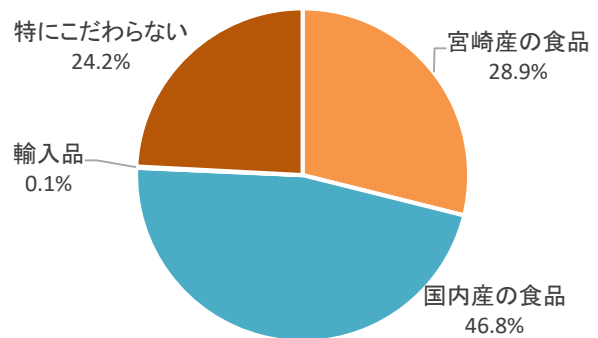
**年代別**



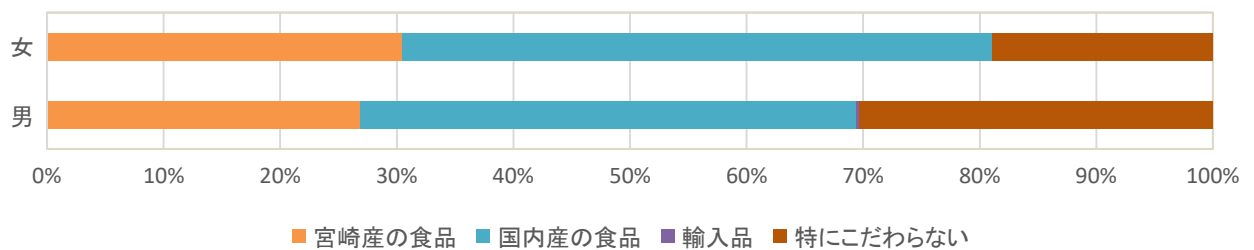
**問13** あなたは、食品を購入する際に「国産や地域の食品」または「輸入品」のどちらを選びますか。

全体では、宮崎産や国内産を選ぶという人が75%以上という結果になりました。  
 男女別では、男性の方がこだわらない人が多く、30%以上という結果になりました。  
 年代別では、20代で50%以上、10代で約40%の人がこだわらないという結果になりました。

選択肢	合計	割合
宮崎産の食品	239	28.9%
国内産の食品	387	46.8%
輸入品	1	0.1%
特にこだわらない	200	24.2%
計	827	100.0%
無回答	13	-



**男女別**



**年代別**

